

小型空調契約選択約款

令和元年10月1日



青森ガス株式会社

目 次

1. 目的	1
2. 用語の定義	1
3. 適用条件	1
4. 契約の締結	1～2
5. 使用量の算定	2
6. 料金	2
7. 単位料金の調整	2～3
8. その他	3
別 表	3～5
附 則	5

小型空調契約選択約款

1. 目的

この選択約款は、負荷調整を推進しつつ当社の製造供給設備の効率的利用を図り、以て合理的・経済的なガス需給の確立に資することを目的といたします。

2. 用語の定義

- (1)「小型空調機器」とは、エネルギー源としてガスを使用する空調用熱源機のうち、ガスエンジンヒートポンプ方式の機器および冷凍能力105.5kw（30US.RT）以下のガス吸収式の機器をいいます。
- (2)「その他期」とは、6月使用分（5月検針日の翌日から6月検針日まで）から9月使用分（8月検針日の翌日から9月検針日までの4ヶ月間をいい、「冬期」とは10月使用分（9月検針日の翌日から10月検針日まで）から5月使用分（4月検針日の翌日から5月検針日まで）までの8ヶ月間をいいます。
- (3)「消費税等相当額」とは、消費税法にもとづき消費税が課される金額に、消費税法にもとづく税率を乗じて得た金額、および地方税法にもとづき地方消費税が課される金額に、地方税法にもとづく税率を乗じて得た金額をいいます。この場合、その計算の結果、1円未満の端数が生じた場合には、その端数の金額を切り捨てます。
- (4)「単位料金」とは、7に定める基準単位料金（税抜）または調整単位料金をいいます。
- (5)「基本料金（税込）」「基準単位料金（税込）」…基本料金及び基準単位料金それぞれの消費税等相当額を含んだ金額をいい、消費税法63条の2の規定に基づき記載するものです。
- (6)「基本料金（税抜）」「基準単位料金（税抜）」…基本料金及び基準単位料金それぞれの消費税等相当額を含まない金額をいいます。

3. 適用条件

お客さまが、小型空調機器を使用し、小型空調機器のガスの使用量を計量する専用のガスマーター（以下「小型空調機器専用ガスマーター」といいます。）を設置する場合には、当社に対してこの選択約款の適用を申し込むことができます。

4. 契約の締結

- (1)お客さまは、適用する料金その他の供給条件を定めた小型空調契約1種、または小型空調契約2種のいずれかを契約していただきます。
- (2)契約期間は次のとおりといたします。
 - ①新たにガスの使用を開始した場合は、料金の適用開始の日から同日が属する月の翌月を起算月として12か月目の月の検針日までといたします。
 - ②契約種別を変更した場合は、変更後の契約の契約期間は、契約種別の変更の日の翌日からその変更の日の属する月の翌月を起算月として12か月目の月の検針日までといたします。ただし、契約期間満了時において当社とお客さまの双方が契約内容について異議のない場合には、契約は、契約期間満了日の翌日からその満了日の属する月の翌月を起算月として12か月目の月の検針日まで同一条件で継続するものとし、以降も同様といたします。
- (3)当社は、本契約の契約期間満了前に解約またはガス小売供給約款に定める料金への変更をした使用者が、再度同一需要場所で本契約の申し込みをする場合、その適用開始の希望日が過去の契約の解約の日または契約種別の変更の日から1年に満たない場合には、当社は、その申し込みを承諾しないことがあります。ただし、設備の変更または建物の改築等のための

一時不使用による解約または契約種別の変更の場合はこの限りではありません((4)において同じ)。

- (4) 当社は、本契約の契約期間満了前にこの選択約款に定める他の契約種別または他の選択約款(ガス小売供給約款に定める料金を除きます。)への変更を申し込みされた場合には、その申し込みを承諾しないことがあります。

5. 使用量の算定

各月使用分の使用量は、前回の検針日および今回の検針日におけるガスメーターの読みにより算定いたします。

ただし、前回の検針日以降、今回の検針日以内に解約を行った場合には、今回の検針日または解約を行った日のガスメーターの読みにより算定いたします。

6. 料金

- (1) 当社は、料金の支払いが、支払義務発生の日の翌日から起算して30日以内(以下「早収期間」といいます。)に行われる場合には、早収料金に消費税等相当額を加えたものを、早収期間経過後に支払いが行われる場合には、早収料金を3パーセント割り増したものを(以下「遅収料金」といいます。)に消費税等相当額を加えたものを料金として支払っていただきます。なお、早収期間の最終日が休日の場合には、直後の休日でない日まで早収期間を延伸いたします。

- (2) 当社は、小型空調契約1種には別表の料金表1を、小型空調契約2種には別表の料金表2を適用して、早収料金または遅収料金を算定します。

7. 単位料金の調整

- (1) 当社は、毎月、(2)②により算定した平均原料価格が(2)①に定める基準平均原料価格を上回りまたは下回る場合は、次の算式により別表の各料金表の基準単位料金(税抜)に対応する調整単位料金を算定いたします。この場合、基準単位料金(税抜)に替えてその調整単位料金を適用して早収料金を算定いたします。

なお、調整単位料金の適用基準は、別表の1(3)のとおりといたします。

イ. 平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき

調整単位料金(1立方メートルあたり)

$$= \text{基準単位料金(税抜)} + 0.083 \text{円} \times \text{原料価格変動額} / 100 \text{円}$$

ロ. 平均原料価格が基準平均原料価格未満のとき

調整単位料金(1立方メートルあたり)

$$= \text{基準単位料金(税抜)} - 0.083 \times \text{原料価格変動額} / 100 \text{円}$$

(備考)

上記の算式によって求められた計算結果の小数点第3位以下の端数は、切り捨て。

- (2)(1)に規定する基準平均原料価格、平均原料価格及び原料価格変動額は、以下のとおりといたします。

① 基準平均原料価格(トンあたり)

64,530円

② 平均原料価格(トンあたり)

別表の1(3)に定められた各3か月間における貿易統計の数量および価額から算定したトンあたりLNG平均価格(算定結果の10円未満の端数を四捨五入し10円単位といたします。)及びトン当たりプロパン平均価格(算定結果の10円未満の端数を四捨五入し10円単位といたします。)をもとに次の算式で算定し、算定結果の10円未満の端数を四捨五入した金額といたします。

(算式)

平均原料価格

$$= \text{トン当たりLNG平均価格} \times 0.9534 \\ + \text{トン当たりプロパン平均価格} \times 0.0508$$

(備考)

トン当たりLNG平均価格及びトン当たりプロパン平均価格は、当社事業所に掲示いたします。

③ 原料価格変動額

次の算式で算定し、算定結果の100円未満の端数を切り捨てた100円単位の金額といたします。

(算式)

イ 平均原料価格が基準平均原料価格以上るとき

原料価格変動額 = 平均原料価格 - 基準平均原料価格

ロ 平均原料価格が基準平均原料価格未満るとき

原料価格変動額 = 基準平均原料価格 - 平均原料価格

8. その他

(1) その他の事項については、ガス小売供給約款を適用いたします。

(別表)

1. 早収料金の算定方法

(1) 早収料金は、基本料金(税抜)と従量料金(税抜)の合計といたします。

(2) 従量料金は、基準単位料金(税抜)または7の規定により調整単位料金を算定した場合は、

その調整単位料金に使用量を乗じて算定いたします。

(3) 調整単位料金の適用基準は、次のとおりといたします。

① 料金算定期間の末日が1月1日から1月31日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、前年8月から10月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。

② 料金算定期間の末日が2月1日から2月28日(うるう年は2月29日)に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、前年9月から11月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。

③ 料金算定期間の末日が3月1日から3月31日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、前年10月から12月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。

④ 料金算定期間の末日が4月1日から4月30日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、前年11月から当年1月までの平均原料価格に基づき算定した調整単

位料金を適用いたします。

- ⑤ 料金算定期間の末日が5月1日から5月31日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、前年12月から当年2月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
- ⑥ 料金算定期間の末日が6月1日から6月30日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、当年1月から3月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
- ⑦ 料金算定期間の末日が7月1日から7月31日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、当年2月から4月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
- ⑧ 料金算定期間の末日が8月1日から8月31日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、当年3月から5月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
- ⑨ 料金算定期間の末日が9月1日から9月30日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、当年4月から6月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
- ⑩ 料金算定期間の末日が10月1日から10月31日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、当年5月から7月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
- ⑪ 料金算定期間の末日が11月1日から11月30日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、当年6月から8月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
- ⑫ 料金算定期間の末日が12月1日から12月31日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、当年7月から9月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。

(4) 調整単位料金を算定しなかった場合、冬期基準単位料金は、料金算定期間の末日が冬期に属する料金に適用し、その他期基準単位料金は、料金算定期間の末日がその他期に属する料金に適用いたします。

2. 料金表1 (小型空調契約1種)

(1) 基本料金

1カ月及びガスメーター 1個につき	15,400.00円 (税込)
	14,000.00円 (税抜)

(2) 基準単位料金

	冬 期	そ の 他 期
1立方メートル	146.344円 (税込)	136.444円 (税込)
	133.04円 (税抜)	124.04円 (税抜)

(3) 調整単位料金

(2)の基準単位料金(税抜)をもとに、7の規定により算定した1立方メートル当たりの単位料金といたします。

3. 料金表2(小型空調契約2種)

(1) 基本料金

1 カ月及びガスメーター 1 個につき	4, 400. 00円(税込)
	4, 000. 00円(税抜)

(2) 基準単位料金

	冬 期	そ の 他 期
1 立方メートル	160. 688円(税込)	157. 96円(税込)
	146. 08 円(税抜)	143. 60円(税抜)

(3) 調整単位料金

(2) 基準単位料金の基準単位料金(税抜)をもとに、7の規定により算定した1立方メートル当たりの単位料金といたします。

附 則

1. この小型空調契約選択約款の実施期日

この小型空調契約選択約款は、平成29年4月1日から実施いたします。

この小型空調契約選択約款は、平成30年7月16日改定実施いたします。

この小型空調契約選択約款は、平成31年4月1日改定実施いたします。

この小型空調契約選択約款は、令和元年10月1日改定実施いたします。